



IAU100  
NameExoWorlds  
National Committee of JAPAN

私を照らす星を太陽と呼び  
私を支える惑星を地球と呼ぶ

あの星を周るあの惑星は、何と呼ぼうか

# 太陽系外惑星 命名キャンペーン IAU100 NameExoWorlds 太陽系外惑星に名前をつけよう!

受付期間 2019年6月28日～9月4日正午

<https://prc.nao.ac.jp/iau/exoworlds2019/>





# キャンペーンについて

「太陽系外惑星命名キャンペーン IAU100 NameExoWorlds」は、世界中の国・地域に一つの系外惑星系（恒星とそれを公転する惑星）を命名する機会を提供する国際天文学連合（The International Astronomical Union: IAU）の「IAU100 NameExoWorlds プロジェクト」の日本でのキャンペーンです。

現在の天文学は、太陽系とは別の恒星をめぐる惑星系を数千個も発見してきています。実に多様な姿の惑星たちは、太陽系しか知らなかった私たちの常識を書き換え続けています。中には、地球とうり二つの性質を持つ惑星や生命の存在する可能性も期待されるようになってきました。

IAU100 NameExoWorlds プロジェクトの目的は、世界中の国がこのキャンペーンに参加することで、世界全体でそうした天文学の発展と天文学的知識の普及を共に目指していくことにあります。

## 命名する恒星・惑星について

日本に割り当てられた系外惑星系は、かんむり座の方向、距離 410 光年にある恒星 **HD 145457** とそれを公転している巨大ガス惑星 **HD 145457 b** です。この惑星は 2010 年に国立天文台のすばる望遠鏡と岡山天体物理観測所（当時）188cm 反射望遠鏡を用いて発見されました。



想像図

HD 145457

クレジット：大西浩次

## 応募ガイド

次のルールに従い、太陽系外惑星（以下、系外惑星）とその惑星が周りをめぐる主星（恒星）の名称を募集します。

- ・文化・歴史・地理などにおいて深い意義を持ち、天体に付けるに値すると認められる物や人物や土地などの名称。
- ・天空や天文学、星座に関連する名称の提案も可能（必須ではない）。
- ・本キャンペーンでは、日本語、アイヌ語、琉球語などに由来する提案を推奨。
- ・系外惑星と主星の名称を各一つ、合わせて二つの名称を一組として提案。一続きの関連性（命名テーマ）が必要。命名テーマは、明確な内容で、新たな天体にも提案できる拡張性があるもの。

提案できる名称の条件や制限など、詳細なルールをキャンペーンのウェブでよくご確認の上、ご応募ください。

受付期間：9月4日正午 締切

<https://prc.nao.ac.jp/iau/exoworlds2019/>

太陽系外惑星命名キャンペーン

主催：The International Astronomical Union (IAU) / IAU100 NameExoWorld National Committee of Japan  
関連機関：IAU Office of Astronomy Outreach (OAO) / 国立天文台 / 日本天文協議会